

豊中市（大阪府）



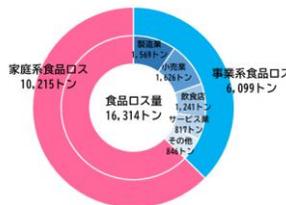
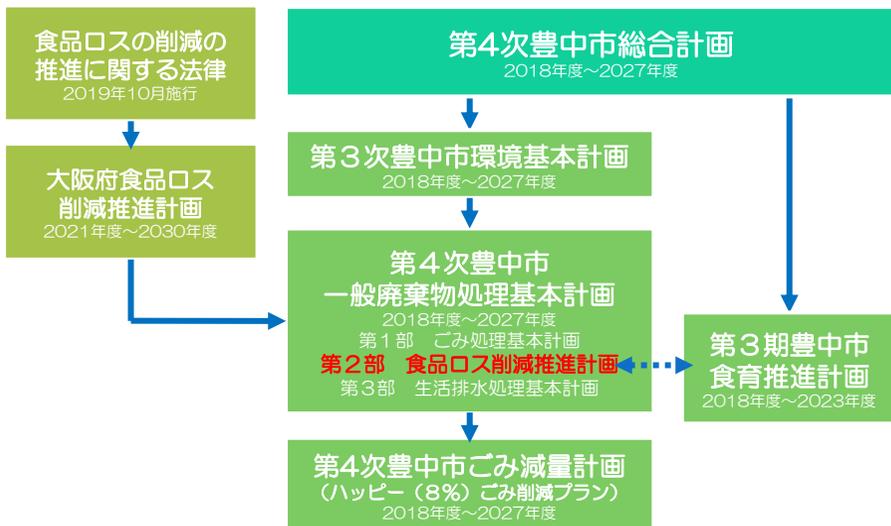
食べ物を大切にして、つなごう「とよなか未来バトン」

【大阪府豊中市の概要】

- ・昭和11年（1936年）10月15日、豊中町、麻田村、桜井谷村、熊野田村が合併し、市政施行。
- ・大阪府北部に位置し、人口は約40万人で大阪市、堺市、東大阪市に次いで大阪府内で第4番目の人口を擁する。
- ・平成24年（2012年）4月1日に「中核市」に移行。
- ・令和2年度（2020年度）に内閣府地方創生推進事務局から「SDGs未来都市」に選定。



【食品ロス削減に向けた取組】



＜豊中市の食品ロスの状況＞
事業系食品ロス6,099トン、家庭系食品ロス10,215トン
（令和3年度推計値）

【食品ロス削減推進計画】

【基本理念】食べ物を大切にして、つなごう「とよなか未来バトン」

【基本方針1】食品ロス削減に向けた普及啓発

- ①環境学習・教育の充実
- ②食品ロス削減方法の発信

【基本方針2】市民・事業者等と連携した取組みの推進

- ①食品関連事業者における食品ロス削減の取組みの推進
- ②フードドライブ活動の促進
- ③各主体との連携強化

【基本方針3】循環利用の推進

- ①食品廃棄物の堆肥化
- ②食品リサイクルの促進

市民・事業者・行政の三者が協働し、食品ロス削減の取組を充実させて課題解決につなげ、次世代に明るい未来を引き渡すべく、基本理念を「食べ物を大切にして、つなごう『とよなか未来バトン』」とし、その実現に向けた3つの基本方針を策定。

- ・これまで食品ロス削減に関する取組は「第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画」及び「第4次豊中市ごみ減量計画」において優先的な取組として位置づけ、食べ物を大切にする活動を市域で展開。
- ・より取組を充実させ、総合的かつ計画的に推進するため、2022年3月に「食品ロス削減推進計画」を策定し、「第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画」の一部として位置づけ。

豊中市（大阪府）

【食品ロス削減に向けた普及啓発】

食べ物を無駄にしない意識を持ち、食品ロス削減の必要性を認識することにより、自発的に食品ロス削減行動を起こすよう、普及啓発を実施。



食品ロス削減
ハンドブック



子ども園等の年長児向け
啓発素材



YouTube
「とよなか環境TV」
の配信



小学校での環境学習
（ごみの学習）



HPで「エコレシピ」
を紹介

【市民・事業者等と連携した取組みの推進】

個々での取組では解決することが難しい食品ロスを、生産から消費までを全体で捉え、市民、事業者、関係団体等の多様な主体と連携し、食品ロス削減の取組を推進。



フードドライブの実施

2019年2月から実施している「官民一体となった【市内完結型】フードドライブ活動」により、豊中市、株式会社ダイエー、豊中市社会福祉協議会は、第1回消費者庁食品ロス削減推進大賞の審査委員会委員長賞を受賞。

豊中市社会福祉協議会、(株)ダイエー、生活協同組合コープこうべ及び(株)光洋の3事業者と実施しているフードドライブ事業について、2023年9月からヤマト運輸(株)とも連携し、新たな運用体制をスタート。



「てまえどり」推進ポスター

【循環利用の推進】

食品ロス削減に十分に取り組んだうえでも生じる食品廃棄物について、堆肥化等、有効活用に向けた食品リサイクルによる循環利用を推進。



給食調理残渣や食べ残しの堆肥化